

「おつかれさまでした」
『市場見学ツアーバス』

この秋、1台の組合車両が入れ替えになりまし。合併後間もない平成20年に導入された日産キャラバンです。当初は木質ペレット運搬をメインに、冬は組合から委託先への納品の際に活躍していました。当時は手積み手下ろしの為、ハイルーフであることが、車内で作業をするにとても便利だったことを思い出します。ここ数年は木質ペレットの稼働量がぐんと増加した為に、トラックでの運搬に変わりましたが、最大積載量1トのこの車は、トラックのない時には加工場の製品を運んだりと重宝されていました。



平成26年からこの車が1年で一番の活躍を見せるのが、毎年8月に行われる組合イベント『森の恵みふれあい祭り』の市場見学ツアーのバスです。徒歩で入っていくには危険な高く積まれた丸太の横や、大きな重機の横を走ります。今年第7回目を迎えたツアーでも増便を出す程の人数で、大勢のみなさんを乗せて走りました。次年度からは、2代目ツアーバスに変わります。老朽化に伴う車両入れ替え、思い出のたくさん詰まった1台になりました。



秋の味覚収穫できました！

10月の終わりの事、購買担当の下里君が「大変です！すっかり忘れていたからえらい出てます!!」と事務所に入ってきました。慌てて行って行ってみるとそこには栗色のきのこがポコポコと顔を出していました。そうです！昨年、平成30年4月に合併10周年記念企画で行った、くりたけ植菌講習会”で参加者のみなさんと打ち込んだ栗の原木から、ついにくりたけが出始めたのです。販売する際に初心者の方には「きのこが取れるのは来秋ですよ。」と説明をするのですが、すっかり忘れての来秋が来ていました。うれしくなり、さっそく栗の原木を出してくださった生産者の方、森産業の杉本講師へも無事に出来ましたと写真付きで報告をしました。その写真を見る中、もともと原木1本1本の隙間を開けたほうが良いと言うアドバイスを頂きました。栽培初心者の私たちはどうもぎつちり埋め込みすぎたようです。講習会参加者のみなさんのお宅はいかがですか？



今年も申込書を同封いたします。春、来秋の楽しみに、きのこ栽培を初めてみませんか？



くみ組
森 まつもと広域
第23号

発行 令和元年12月9日
松本広域森林組合
〒399-8102
長野県安曇野市三郷温 4000 番地
0263-77-2413
http://www.matsumoto-forest.jp



県産材を使った丸太・杭各種サイズ販売中！
筑北加工場
0263-64-3300まで



『森林づくり県民税』
新たな取り組み

本年度の取り組みとして、観光地等魅力向上森林景観整備のための森林整備が、森づくり県民税を活用し行われています。組合管内でも、山形村の清水スカイライン沿線、松本市四賀地区の長野自動車道沿線のアカマツ枯損木の整備を行っております。



観光地等魅力向上森林景観整備 山形村 清水高原

木材流通の現状と今後

11月18日森林組合連合会中信木材センターにおいて、開所記念市が開かれ、本年も多量出荷者の表彰を頂きました。『木材価格低迷』と言う言葉は、耳にタコができるほど聞いている言葉ですが、実際のところ明るい兆しはないのでしょうか？現在の価格を踏まえ今後の見通しを、同センター青柳所長にお聞きしました。



総務課よりお願い

このような状況はありませんか？
・組合員が亡くなった。
・組合員から権利を継承された。
・住所や連絡先が変更になった。
・山林を売却し、権利が別の方に移行した。

思い当たる方は、総務課までご連絡ください。所定の用紙をお送り致します。総務課 ☎0263(77)2413 fax 0263(77)2635

第1033回記念市 市況表 (令和元年11月18日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター
Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349
◎ 値気配 - 保合 △ 割気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	安値(円/m)	高値(円/m)	中値(円/m)	気配	備考
すざ	3.0	直	16~18	2,500	11,000	9,000	-	3.0m×16~22cm柱取り引合いがあります。20cm上は14.0m造材してください。
	4.0	直	20~28	2,500	13,000	10,000	-	
	4.0~6.0	直	30上	7,000	20,000	12,000	-	
ひのき	3.0	直	20上	7,000	18,000	13,000	-	価格安定
	4.0	直	18~28	7,000	23,000	14,000	-	
	4.0~6.0	元	32~50	15,000	156,000	85,000	-	
からまつ	4.0	直	6~13	2,500	12,000	8,000	-	材不足しています。細目5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		直	14~18	2,500	13,000	10,000	-	
		直	20上	2,500	16,000	12,000	-	
		曲	14~18	2,500	6,000	5,000	-	
		曲	20~40	2,500	13,000	7,000	-	
あかまつくり	4.0	直	26~56	2,500	10,000	6,000	-	今後に期待。
	5.0~9.0	直	24~34	2,500	50,000	8,000	-	
まき	4.0~7.0	直	20~48	2,500	45,000	13,000	○	応札活発。
	3.0~4.0	直	18~34	500	60,000	20,000	○	
まき	4.0	直	34~42	2,500	81,000	19,000	○	応札活発。
	3.0~4.0	直	40~94	1,000	300,000	40,000	○	
まき	4.0	直	18~40	2,500	49,000	10,000	○	応札活発。
	2.0~4.0	直	26~50	2,500	36,000	12,000	○	

出品量 8,324 m³ 販売量 6,089 m³ 落札率 73% 買い方 56 社

中信木材センター開設57周年記念市開催にあたり、多量の出荷をいただき、出荷者のみなさまにはセンター職員一同感謝申し上げます。おかげさまで大役材を中心に応札活発で開設記念にふさわしい市況となりました。尚、当組合は合法木材センターに取組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

次回納市12月12日(木)

新年初市は1月8日(水)です。

- ◎ 今市場でもっとも多く取り扱われている樹種は何でしょうか？
- ◎ カラマツが4割 アカマツが4割と2樹種が8割を占めます。
- ◎ バイオマス燃料材は何でも買取してもらえるのでしょうか？
- ◎ 伐採時に、経営計画等の条件を満たした木材が、F.I.T材と呼ばれる現在地域でも進められているバイオマス発電施設などで買取がされています。
- ◎ 今後の木材価格や流通はどのようなのでしょうか？
- ◎ 価格の大きな上昇はないと思いますが、当センターでも取扱量の半分を占める合板材としての流通は、一年を通して安定的な需要が見込まれ、今後森林経営計画の作成などによる、計画的、安定的な供給が重要になると思われます。



お話を聞くところでは、今後も木材価格が大幅に高値に推移することは無いようですが、先人が植え、育てた木を無駄にすることなく活用していくことが、私たちと与えられた使命と思われ、県森連と連携しながら、木材の有利販売を今後も進めてまいりますので、組合員の皆様もお気軽にご相談下さい。

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	安値(円/m)	高値(円/m)	中値(円/m)	気配	備考
くり	4.0~7.0	込	20~48	2,500	45,000	13,000	○	応札活発
いちい	3.0~4.0	一本売り	18~34	500	60,000	20,000	○	
けやき	3.0~4.0	一本売り	40~94	1,000	300,000	40,000	○	
銀杏	4.0	込	18~40	2,500	49,000	10,000	○	
さくら	2.0~4.0	込	26~50	2,500	36,000	12,000	○	

応札が活発に見られた第1033回記念市市況表(広葉樹抜粋)

前回の広報にて総代改選のお知らせをいたしました。みなさまのご協力により改選が行われました。

第5期総代名簿

任期：令和元年9月～令和4年8月

選挙区第1区 松本33名

- | | |
|--------|--------|
| 村田 秋男 | 加藤 昭仁 |
| 増澤 範一 | 森山 良一 |
| 中澤 忠克 | 赤羽 正 |
| 遠山 重治 | 早川 千芳 |
| 牧田 英明 | 谷崎 直澄 |
| 武井 昭寿 | 金井 章 |
| 宮坂 修 | 大久保 理治 |
| 朝倉 明 | 横山 盛高 |
| 市川 正治 | 飯沼 宣昭 |
| 百瀬 孝一 | 柳澤 源吉 |
| 中島 典彦 | 柳澤 利春 |
| 清水 敏郎 | 柳澤 十四道 |
| 百瀬 潔 | 丸山 和信 |
| 小笠原 深志 | 松嶋 明 |
| 中嶋 誠 | 中野 武 |
| 洞澤 章夫 | 芦田 勝弘 |
| 丸山 三喜男 | |



選挙区第2区 筑南58名

- | | |
|-------|--------|
| 上條 益司 | 酒井 和行 |
| 林 孝好 | 下平 睦範 |
| 青木 秀夫 | 田中 芳行 |
| 鎌田 清美 | 宮本 一由 |
| 中村 新一 | 南原 興夫 |
| 大島 護 | 塩原 治行 |
| 米窪 和雄 | 百瀬 善夫 |
| 岩田 敏夫 | 青木 利典 |
| 吉江 義明 | 青柳 好典 |
| 米窪 祐二 | 小沢 貞二郎 |

〔塩尻市〕

- | | |
|--------|-------|
| 中島 誠 | 小野 英隆 |
| 古畑 比出夫 | 古厩 猛 |
| 青木 育夫 | 塩原 順弘 |
| 小野 正守 | 飯島 一廣 |
| 武居 和雄 | 山田 邦章 |
| 丸山 修 | 塩原 基宏 |
| 中原 明 | 永原 英男 |
| 荻上 充 | 塚原 悦司 |
| 碓井 勝 | 市川 裕一 |
| 平林 秀一 | 西窪 美彦 |

〔朝日村〕

- | | |
|-------|-------|
| 舞原 光登 | 小林 俊一 |
| 武田 栄市 | 中村 守一 |
| 清沢 均 | 小林 信一 |
| 下田 哲也 | 高橋 裕明 |
| 筒井 俊 | 清沢 光寿 |

〔松本市波田地区〕

- | | |
|--------|--------|
| 古田 寛司 | 中嶋 大也 |
| 水川 博淳 | 深澤 久幸 |
| 中村 健一郎 | 神通川 清一 |
| 大池 栄吾 | 藤沢 洋史 |



選挙区第3区 筑北76名

- | | |
|--------|--------|
| 本木 泉一郎 | 竹内 博 |
| 上條 員利 | 中村 智 |
| 本木 保夫 | 宮川 昇 |
| 飯島 陸久 | 市川 東一 |
| 曾山 正夫 | 山田 英治 |
| 太田 豊昭 | 長岩 千晴 |
| 両瀬 清利 | 高橋 利行 |
| 望月 隆夫 | 桐原 喜武 |
| 柳澤 隆二 | 伊藤 修平 |
| 武川 正二 | 山岸 忍 |
| 倉科 勝美 | 望月 宣治 |
| 齋藤 正佳 | 草田 耕一郎 |
| 金子 文彦 | 和田 憲孝 |

〔安曇野市明科地区〕

- | | |
|-------|-------|
| 内川 保 | 伊藤 重徳 |
| 池上 秋親 | 矢澤 久男 |
| 石田 良夫 | 滝澤 一雄 |
| 関 信夫 | 宮下 勝 |
| 原口 武男 | 小林 隆夫 |
| 望月 貞美 | 横山 義雄 |
| 小林 明 | |

〔麻績村〕

- | | |
|--------|-------|
| 吉野 国康 | 山本 陽子 |
| 町田 俊男 | 三浦 武 |
| 島田 光一郎 | 関崎 芳夫 |
| 山田 春樹 | 塚原 勝美 |
| 宮川 壮一郎 | 坂口 太門 |

〔筑北村坂北地区〕

- | | |
|--------|-------|
| 宮入 宏一 | 宮下 幸一 |
| 太田 東洋雄 | 嶋田 幸夫 |
| 北澤 善孝 | 柳沢 長生 |
| 久保田 春彦 | |

〔筑北村木城地区〕

- | | |
|--------|--------|
| 窪田 純一 | 久保田 茲朗 |
| 太田 三男 | 原田 工 |
| 一之瀬 竹治 | 久保田 忠 |
| 西澤 孝光 | |

〔筑北村坂井地区〕

- | | |
|-------|--------|
| 宮下 博史 | 宮下 誠一 |
| 関森 典貞 | 吉池 均 |
| 北條 嘉則 | 玉井 和門 |
| 宮下 博 | 植原 和夫 |
| 腰原 幸朗 | 腰原 久男 |
| 安坂 安正 | 一ノ瀬 貞男 |
| 宮川 昌直 | |

〔生坂村〕

- | | |
|-------|--------|
| 腰原 幸朗 | 腰原 久男 |
| 安坂 安正 | 一ノ瀬 貞男 |
| 宮川 昌直 | |



選挙区第4区 穂高5名

- | | |
|-------|---------|
| 有賀 善彦 | 曾根原 富二郎 |
| 松島 英二 | 降旗 史敬 |
| 矢口 昌良 | |

選挙区第5区 あつみ28名

- | | | |
|------------|-------|--------|
| 〔安曇野市豊科地区〕 | 高橋 邦夫 | 青柳 吉晴 |
| 〔安曇野市堀金地区〕 | 山口 裕 | |
| 〔安曇野市三郷地区〕 | 曾山 米保 | |
| 〔安曇野市三郷地区〕 | 大倉 典明 | 三村 啓 |
| 〔松本市奈川地区〕 | 奥原 幸一 | 忠地 軍一 |
| 〔松本市安曇地区〕 | 奥原 和友 | 富田 健司 |
| 〔松本市梓川地区〕 | 奥原 公正 | 奥原 小馬人 |
| | 伴野 英男 | |
| | 輪湖 孝三 | 大野 剛 |
| | 齊藤 洋一 | 奥原 松利 |
| | 樽沼 光男 | 前田 隆之 |
| | 八剣 住夫 | |
| | | 山崎 和男 |
| | | 小松 茂 |
| | | 岩原 謙二 |

以上が選出されました200名の新総代のみなさまです。もうすでに、ご協力を頂いている総代の方々もいらつしやいます。今後、地域での組合員名義変更等、組合事務局と地域の組合員様の橋渡し役として活躍を頂きます。4月にはもくろひう館にて開催が予定されています。任期満了まで約3年間、よろしくお願いたします。

松本地域における木質チップボイラーの取り組みについて

最近木質バイオマスのエネルギー利用が盛んになっている中で、松本地域において、本格的な木質チップを利用したバイオマスボイラーの稼働が、今春より始まりました。設置場所は松本市波田の『竜島温泉せせらぎの湯』です。この施設にバイオマスボイラーが導入された経緯は、施設の所有者である松本市が平成二十八年度に策定した『松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画』に基づき、従来の化石燃料の利用を木質チップで代替することを目的として設置されたものです。この事業では、二酸化炭素の排出削減、安定した燃料価格での経営安定化、地域で製造した燃料の使用による地域産業の活性化という効果が期待されています。しかし、松本市がこの計画を立案する際のハードルの一つとなったのが、



竜島温泉せせらぎの湯
〒391-1401 長野県松本市波田3452
TEL:0263-94-1126

当時中信地域には木材チップの製造販売業者が存在しないということでした。そこで、当組合を含めたこの地域の林業事業者などが集まって木質燃料の製造と供給を担う『松本平森林エネルギー(株)』を立ち上げ、需給体制を整うこととなりました。但し今回のボイラーは、出力が一五〇キロワットで年間のチップ消費量が約一六〇トンにとどまるため、新会社においては新たな設備投資をすることは難しく、メンバーの持つ設備で作業を分担して事業を行うこととなっています。またこの地域においては、大型バイオマス発電所の稼働も計画されており、木質バイオマスの利用が活発になると予想されていますが、ボイラーによる熱利用では固定価格買取制度(FIT)にとらわれないので、これまで利用されにくかった支障木や松くい被害材の有効活用も進むと考えられています。

今回動き出したこれらの活動は、まだまだ規模が小さいですが、これをきっかけに官民問わず木質バイオマス利用への取り組みが進むことを期待します。



事業委員会 総務委員会を行いました。

11月19日火曜日、永田事業委員長をはじめ7名の所属理事が、筑北支所を会場に事業委員会を開催しました。当日は支所会議室において、本年度の事業実施状況・見込みの報告、次年度の事業計画について話し合わせ、その後、併設の加工場の見学及び、木材チップ製造の現場の視察をしました。また、来年度施設が予定されている四賀地区内の現場2件へ足を運び、担当所長より四賀地区における松くい虫被害状況等の説明を受け、現場の状況を視察しました。12月6日金曜日には、芦田総務委員長をはじめとした総務委員5名に吉田組合長が加わり、本所「もくろひう館」にて総務委員会が行われました。協議内容は、総代選挙区について、本年度事業状況について、来年度暫定事業計画について、職員賞与について等参事からの説明に続き、話し合われました。



令和元年度 第二回安全衛生大会 開催しました。

10月29日に今年度一回目の安全衛生大会を「もくろひう館」会議室で開催しました。講師、組合職員、協力事業者、併せて七十八名が出席しました。午前中は、安全衛生担当職員より、今年度の労働災害の状況、冬季労働災害防止、豚コレラまん延防止対策、また前回の大会時出席者から提出されたヒヤリハット報告書の分析結果について説明がありました。また、購買担当からは、新時代のチェーンソー「スチールMS500」の紹介があり、デモ機を使った体験なども行われました。午後は講師三名による「伐木等の業務特別教育修了者を対象とした補講」を受講し、造材方法、下肢の切断防止用保護衣の着用等について学びました。最後は、今後の作業の安全を祈念して、全員で恒例の指差し呼称「ゼロ災でいこう！」を三唱して終了しました。



「ゼロ災でいこう！」を三唱して終了しました。